

## 下北半島ジオパーク構想について! ~その2~

市では、今年度からジオパークについて調査・検討を行い、むつ市を含む下北半島として日本ジオパークを目指す活動を行なっています。本紙 12月号からコーナーでジオパークについて紹介していますが、2回目となる今回は、日本にある世界ジオパークについて紹介します。

### 【日本にある世界ジオパークってどういうもの?】

現在、国内では 11 地域が日本ジオパークに認定されていますが、その内、北海道の「洞爺湖有珠山」、新潟県の「系魚川」、長崎県の「島原半島」の3つのジオパークが平成21年8月22日にユネスコが支援する「世界ジオパークネットワーク」に認定されました。

#### ◆『洞爺湖有珠山』ジオパーク

2000年に噴火した有珠山とそれによる被害遺構(火山により倒壊した旧病院をそのまま公園として整備)、1945年にできた昭和祈山、約10万年前に形成された洞爺湖が見どころで、有珠山の噴火による地殻変動を目の当たりにできるなど、変動する大地との共生を感じることでできるジオパークです。



【昭和祈山】



【小滝川ヒスイ峡】

#### ◆『系魚川』ジオパーク

5億年にわたるさまざまな時代の多様な岩石や地層、日本を2つに分ける大きな断層「系魚川静岡構造線」と地下にある大きなへこみである「フオッサマグナ」(本州の中央をU字型の溝が南北に走り、その溝に新しい地層が溜まっている地域)が見どころで、縄文文化と深い関わりがある勾玉(まがたま)の原料として有名なヒスイや、断層に沿った地すべり等が原因で、越後から海産物、信濃からタバコや穀物などが往来された「塩の道」など、ジオと人に関わるテーマが豊富なジオパークです。



【平成祈山】

#### ◆『島原半島』ジオパーク

1990年から1995年に噴火した雲仙普賢岳とその被災遺構(平成3年の火砕流で全焼した旧大野木場小学校の校舎をそのまま保存)と、「島原大変肥後迷惑」と言われる1792年の噴火の遺構、また、雲仙地溝の活断層地形が見どころで、噴火の際に発生する火砕流の恐ろしさ火山の恵みがテーマのジオパークです。

世界ジオパークネットワークに認定された3つの地域には、「火山活動」や「大きな断層」など地球の活動に関する大きな特徴があり、地球とそこに住んでいる人々の生活とが融合しているジオパークです。

今後それぞれの地を訪れる機会があったら、ジオパークに関連する場所も訪問し、地球内部の動きについて考えてみるのもいいかもしれませんね。

### ◆◆『ジオパークに関する講演会』開催のお知らせ ~入場無料!~ ◆◆

市では、『ジオパーク』について多くの市民のみなさんに知っていただくため、ジオパークに関する講演会を開催します。たくさんのみなさんの参加をお待ちしています!

〈い つ〉 2月6日(土)・午後3時~4時30分

〈どこで〉 むつ来さまい館 1階イベントホールB

〈講 師〉 日本ジオパークネットワークアドバイザー 渡辺 真人 氏

(独立行政法人産業技術総合研究所『日本ジオパーク委員会』

事務局主任研究員、日本地質学会ジオパーク支援委員、理学博士)

〈内 容〉 『ジオパークとは?』『各地のジオパークの紹介』

『ジオパーク先進地の取り組み』など

※講演会の詳細については2月1日の新聞折り込みチラシをご覧ください



〈詳しくは〉

市企画課 ☎22-1111 内線 2313

